ASHUREY CLASS主催

1st 「セレブレイト・マッツォート」

2.「この地をあなたの子孫に与える」

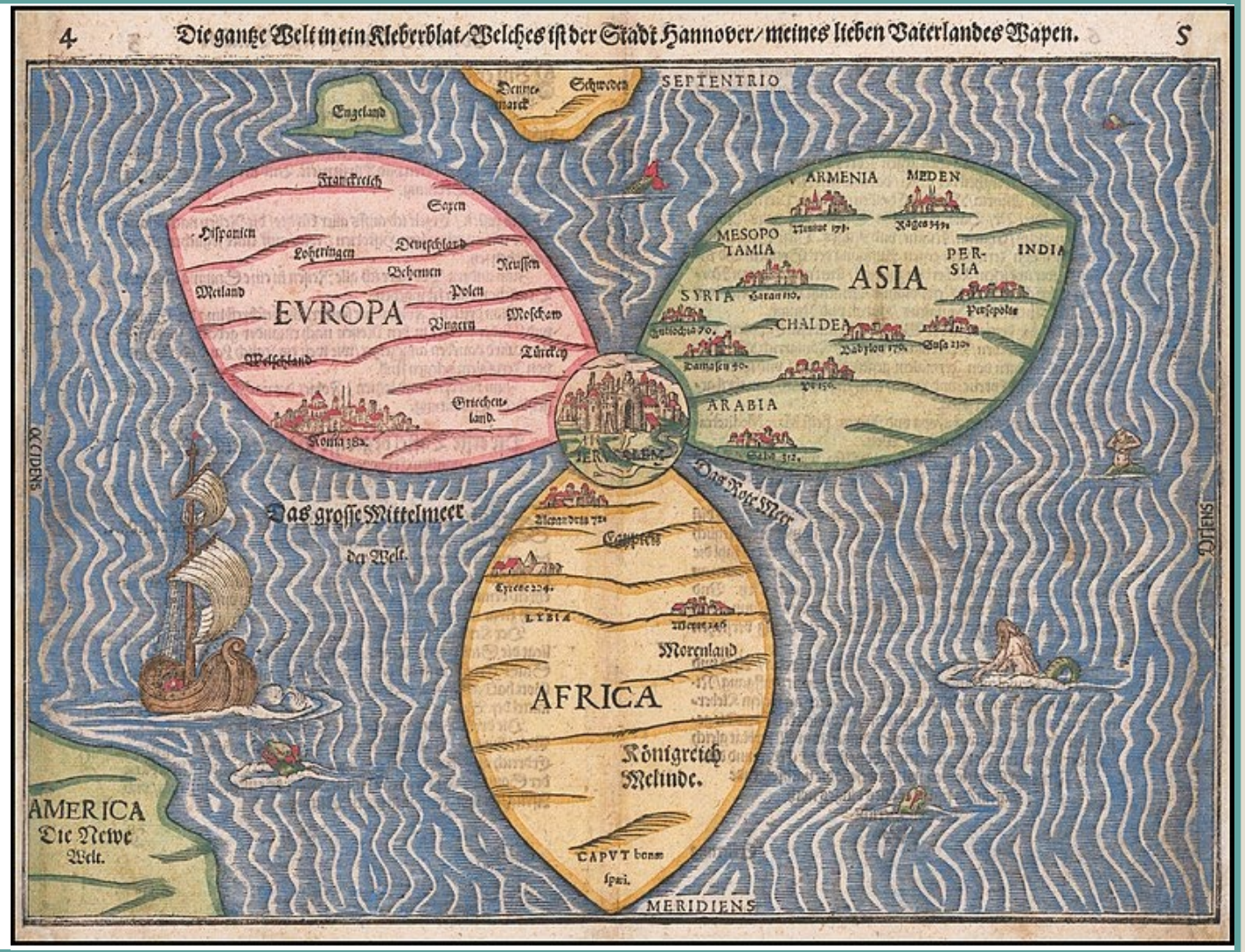
2023. 4. 10 (朝)

「主が示された地」①

●神である主がアブラムに示された地は、「カナンの地」です。右の地図はその地を中心としたものとなっています。

●聖書の舞台となる地、それはヨーロッパ、アジア、アフリカの三大陸の要衝の地です。

●「カナンの地」はヘルモン山を北限とする緑豊かな地域であり、南限は砂漠という対照的な気候を有し、地形的にもあらゆるものを有している地域です。



「主が示された地」②

●地形的に起伏が大きいことから、
神の「広さ、長さ、高さ、深さ」を表すのにふさわしい地です。

「主が示された地」③

①【新改訳2017】創世記12章1節
【主】はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

②【新改訳2017】創世記12章5節
アブラムは、・・ハランで得た人たちを伴って、カナンの地に向かって出発した。こうして彼らはカナンの地に入った。

③【新改訳2017】創世記12章7節
【主】はアブラムに現れて言われた。
「わたしは、あなたの子孫にこの地を与える。」

④【新改訳2017】創世記13章15節
わたしは、あなたが見渡しているこの地をすべて、あなたに、そしてあなたの子孫に永久に与えるからだ。

※「この地」はすべて冠詞付きの「ハーアーレツ」(הָאָרֶץ)です。

「主が示された地」④

⑤【新改訳2017】創世記15章18節
その日、【主】はアブラムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える。エジプトの川から、あの大河ユーフラテス川まで。

⑥【新改訳2017】創世記17章8節
わたしは、あなたの寄留の地、カナンの全土を、あなたとあなたの後の子孫に永遠の所有として与える。わたしは彼らの神となる。」

⑦【新改訳2017】創世記22章15～17節
15 【主】の使いは再び天からアブラハムを呼んで、16 こう言われた。「わたしは自分にかけて誓う――【主】のことば――。あなたがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜しまなかったので、
17 確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。

「主が示された地」⑤

【新改訳2017】ガラテヤ人への手紙3章15～16節
15 兄弟たちよ、人間の例で説明しましょう。人間の契約でも、
いったん結ばれたら、だれもそれを無効にしたり、それに
つけ加えたりはしません。
16 約束は、アブラハムとその子孫に告げられました。神は、
「子孫たちに」と言って多数を指すことなく、一人を指して
「あなたの子孫に」と言っておられます。それはキリストのこと
です。

●「あなたの子孫」「あなたの後の子孫」とは、イスラエルの民、
およびイェシュア・メシアを指し示しています。イスラエルは
イェシュアが入って、初めて神の約束の対象となるのです。

「主が示された地」⑥

⑧【新改訳2017】出エジプト記3章8節
わたしが下って来たのは、エジプトの手から彼らを救い出し、その地から、広く良い地、乳と蜜の流れる地に、カナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人のいる場所に、彼らを導き上るためである。

●出エジプト記3章8節で初めて「乳と蜜の流れる地」というフレーズが登場します。「わたしが示す地」とは具体的には「カナンの地」であり、そこは神の目には「良い地」(「エレツ・トーヴァー」אֶרֶץ טוֹבָה)なのです。なぜなら本体の写しである神の都エルサレムと神殿があるからです。「エルサレム」のヘブル表記は「イェルーシャーライム」(יְרוּשָׁלַיִם)で、二つの語彙から成っています。一つは「イェルー」(יְרוּ)、もう一つは「シャーレーム」 (שָׁלֵם)で、<u>神がご覧になっている計画が完成する所</u>を意味しています。正に、エルサレムは「神のご計画における舞台の中心」なのです。

「主が示された地」⑦

【新改訳2017】創世記1章2～13節
2 地は茫漠として何もなく、闇が大水の面の上にあり、神の霊がその水の面を動いていた。
3 神は仰せられた。「光、あれ。」すると光があった。
4 神は光を良しと見られた。神は光と闇を分けられた。
5 神は光を昼と名づけ、闇を夜と名づけられた。夕があり、朝があった。第一日。

6 神は仰せられた。「大空よ、水の真っただ中にあれ。水と水の間を分けるものとなれ。」
7 神は大空を造り、大空の下にある水と大空の上にある水を分けられた。すると、そのようになった。
8 神は大空を天と名づけられた。夕があり、朝があった。第二日。

9 神は仰せられた。「天の下の水は一つの所に集まれ。乾いた所が現れよ。」すると、そのようになった。10 神は乾いた所を地と名づけ、水の集まった所を海と名づけられた。神はそれを良しと見られた。11 神は仰せられた。「地は植物を、種のできる草や、種の入った実を結ぶ果樹を、種類ごとに地の上に芽生えさせよ。」すると、そのようになった。12 地は植物を、すなわち、種のできる草を種類ごとに、また種の入った実を結ぶ木を種類ごとに生じさせた。神はそれを良しと見られた。
13 夕があり、朝があった。第三日。

●茫漠として何もなかった「その地」(הָאָרֶץ)が、水の中から三日目に復活しています。「その地」は「キリスト」を啓示しています。

「主が示された地」⑧

●天におられる神は「その地」にこだわります。なぜなら「その地」(「ハーアーレツ」הָאָרֶץ)にあるすべてがキリストを啓示しているからです。アブラハムに示した「わたしが示す地」とは「カナンの地」であり、神はその地を「乳と蜜の流れる地」と命名されました。この表現は旧約で18回の言及があり、申命記では6回使われています 。その地は神の目には「良い地」 (申8:7)、「安住の地、ゆずりの地」(申12:9)、「父祖たちに与えると誓ったこの地」(エレ32:22)、「どの地よりも麗しい地」(エゼ20:15)、「主が絶えずその上に目をとどめておられる地」(申11:12)です。これらはすべてキリストを啓示するたとえとなっており、同時に、キリストに与えられているのです。

●マタイの福音書13章のたとえ話にある「良い地」も同様に、キリストを啓示しています。神の永遠のご計画は、「その地」(=キリスト)を中心にして繰り広げられているのです。

今回のまとめ

●神が関心を持っておられるのが「その地」であり、それがキリストを啓示しているたとえであるなら、私たちも「その地」に関心を持つべきです。それは神を愛することでもあります。

●次回から、「その地」がどのようにキリストを啓示しているのかを一つひとつ見て行きたいと思います。

「良い地」であるキリストを知ろう!!